

日本語教室ぺらぺら会（火曜・金曜コース）全体会の議事録

日時	場所
令和2(2020)年9月11日(金)	ZOOM オンライン
林(代表=司会) & 神田(副代表=書記)	

- 1 令和2(2020)年9月9日(水)の「臨時代表会」で策定された、「2020年度後期日本語教室の運営方法」(文化・国際交流財団)が、同名・別添書面どおりに理解・確認されました。

*書面は、全体会出席者(最下記)に加えて、小宮くに子さん、能川美智子さんを加えた、合計11名のボランティア講師には既に配布されていますので、この議事録への添付は割愛させていただきます。
- 2 書面を初めてご覧いただくボランティア講師、ならびに全体会に出席いただけなかったボランティア講師の皆さまに対して、以下、主要な確認点について補足説明させていただきます：－
 - 1 運営方法、クラス担当、等は2020年度後期(10～3月)限定のもので、2021年4月以降は、原則、従来の運営方法、クラス担当に復帰いたします。
 - 2 新型コロナウイルスへの感染防止対策上、教室内の人数を減らしたく、サブは原則1名での授業運営となりました。基本は次のメイン担当者がサブを務めることとなります。
→本項については、下記4-②もご参照ください。
- 3 新型コロナウイルスへの感染状況・将来予測は、突き詰めれば不可能です。
 - 1 教室形式(対面式)授業が運営できなくなった場合には「オンライン授業」に移行されることがあります。
 - 2 現在までに申し込みを寄せてくれた学習者は「9割がた」オンライン授業への参加環境をお持ちであることが確認済(主催者)となっています。
- 4 事情がゆるせば、を条件として、以下の検討要望が寄せられました：－
 - 1 「A」クラスを委託する、日本語学校のプロ講師の授業ぶりを「見学・聴講」できたら、貴重な自己研鑽機会となるので、委託先学校に「軽やかに」交渉いただけないだろうか。
 - 2 「B/C」クラスについての「サブ1名限定(=次回のメイン担当講師)」も将来、状況が許すならば同様に緩和を検討してほしい。
- 5 以下の陣容で後期教室をスタートすることになりました：－
A：主催者が委託する日本語学校の講師
B：鈴木(雄)、小藤田、村松、棚木、神田
C：林、小宮、能川、熊井、吉永

以上

〈出席者〉鈴木(雄)、小藤田、熊井、村松、吉永、棚木、朝倉、林、神田。 以上9名。
〈交流課〉小野係長 次回計画は未確定です。